

3月のモチゼミ

「グローバル人財ってなんだ？」

留学経験者4名にお越しいただき、それぞれの経験をもとに「グローバル人財とは？」というテーマに関して、少人数制の座談会形式で、お話しいただきました。



石田愛理さん(立教大学3年)

「周囲を率先し、仲間と助け合いながら。自分のフィールドを広げていく人」

日本人の「当たり前」は世界の「当たり前」ではない。中高生は「特権階級」。今の内に、挑戦して、失敗や挫折を繰り返していくのが大切。

大野田さよさん(津田塾大学3年)

「ポータブルスキル+異文化適応力」

自分は、中高の時、海外への興味が全くなく、部活や理系の勉強をしていた。中高の時から、もっと海外に興味を持つと、より選択肢が広がる。

山下亜弓さん(PwCコンサルティング)

「他の人との『違い』を感じる」

語学は後からでも身につく。大切なのは、経験でしか身につかないこと。留学での生活の中で、海外の人と一緒に何かする経験は貴重になっていく

Alex Weberさん (Uber Japan)

「日本以外でも仕事ができること」

今後、日本の市場は衰退していく。日本以外でも生きていくために、「自分の頭で考えること」が大事。今までと同じ生き方・考え方は通用しなくなっていく

生徒たちの感想

- ・世界という視点から見るのは勇気がいるけれど、これからの自分には大切なことだと思いました(高3)
- ・主体的に動くことの大切さを感じた(中3)

「世界」の中で「自分」を捉え主体的に行動する存在

4名ともに共通していたのは、グローバル人財とは、あくまでも、姿勢であり、考え方、スタンスであるということ。語学はできた方が良いが、**語学が全てではない。異なる文化を持つ人と暮らしていくこと、仕事をしていくこと、そのための考え方や姿勢こそが大切。**その力を育成するための「経験」として、留学を選択肢として、考えてみてはどうでしょう？



モチゼミREPORT 201603

モチゼミの内容は
ブログにも掲載中！



渋谷校



自由が丘校